

キーボード・マウス・ディスプレイ切り換え器
PC換太MA-11
 (Macintosh/AT互換機用)

特徴

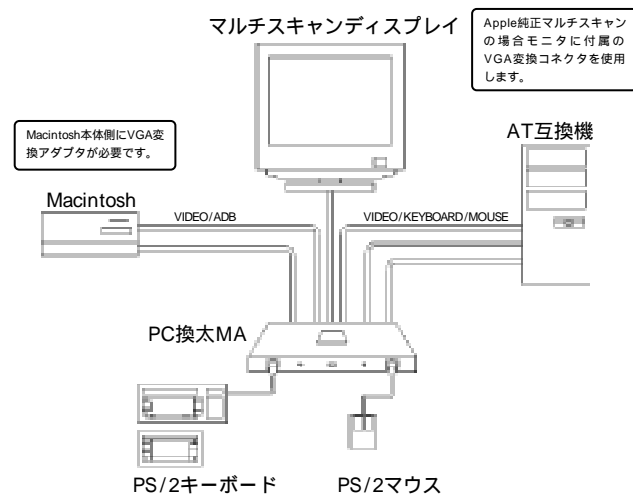
- ・1つのキーボード、マウス、ディスプレイをAT互換機とMacintoshで共有
- ・キーボード上の選択キー(ScrollLockまたはPause)でマシンを切り換え
- ・電源の入っているマシン側へ自動切り換え
- ・市販の日本語106/109又は英語101/104キーボードを使用
- ・市販のPS/2仕様(2ボタン)のマウスを使用
- ・増設用ADBコネクタを装備しADBデバイスと混在可能(Macintosh側のみ)
- ・外部電源不要(AT互換機本体およびMacintosh本体より供給)
- ・Microsoft Intelli Mouse(PS/2)に対応(Mac側でホイール機能を一部使用可能)
- ・PFU Happy Hacking Keyboard(H.H.K.)に対応
- ・MacOS8のコンテキストメニューに対応(マウスの右ボタンでメニュー表示)
- ・小型・軽量



注意 本製品および接続する機器の「取扱説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください。誤った取扱いによって、人が障害を負ったり、本製品またはお客様の財産に損害を与える可能性があります。

接続

1つのマルチスキャンディスプレイ、PS/2キーボード、PS/2マウスを本器を通して2台のコンピュータ(PC-AT互換機とMacintosh)へ接続します。作業する前に各機器の電源が切れていることを確認して下さい。



AT側の接続

本器付属の2本のケーブル(同じものです)の内一本を使ってATの背面のキーボードコネクタと本器のAT-KEYBOARDコネクタを接続して下さい。同じように、もう1本のケーブルを使い、AT本体マウスコネクタと本器AT-MOUSEコネクタを接続します。次にディスプレイの接続を行います。ディスプレイケーブルでAT本体のビデオ出力と本器AT-DISPLAY INコネクタを接続して下さい。

Macintosh側の接続

MacintoshキーボードのADBケーブルを抜き、それを使いMacintosh本体のADBコネクタと本器のADB IN/OUTコネクタ(二つあるうちのどちらか一方)へ接続します。もしキーボード、マウス以外のADBデバイスをお使いの場合は、本器のADB IN/OUTコネクタへ接続しておきます。AT同様にビデオ出力を本器Mac-DISPLAY INコネクタと接続します。

注)Macintosh用VGAディスプレイ変換アダプタはMacintosh本体に接続して下さい。
 PC-9801/9821用の変換コネクタは使用できません。絶対に接続しないで下さい!

ディスプレイ・キーボード・マウスの接続

ディスプレイは市販のマルチスキャン(PC-AT互換器機、Macintosh両対応のもの)をご用意下さい。Macintosh専用(13インチディスプレイ等)は使用できません。PS/2キーボードは市販の101/104/106/109等が利用できます。AT仕様(DIN5ピン)のものについては別途変換アダプタが必要です。PS/2マウスについては2ボタン(ホイール等が無い物を推奨)のものをご利用下さい。

ディップスイッチの設定

使用するキーボードや環境に合わせてディップスイッチの設定を行って下さい。

スイッチ1	使用するPS/2キーボードの設定	
	OFF	106/109日本語キーボード (出荷時設定)
	ON	101/104英語キーボード
スイッチ2	キーアサインの設定(HappyHackingKeyboardの設定)	
	OFF	Normal (H.H.K.使用しない, 出荷時設定)
	ON	H.H.K. (H.H.K.使用する)
スイッチ3	切り換えキーの設定	
	OFF	ScrollLock (出荷時設定)
	ON	Pause
スイッチ4	OFF	未使用 (出荷時設定)

使用方法

電源を入れる前に、一度すべての接続が正しいか確認してから使用して下さい。
AT本体側のマウス、キーボードの接続を誤った場合(逆接続した場合等)全ての操作ができなくなる恐れがありますのでご注意ください。 本器は電源が投入されるとそのマシンを判断し電源の入っている方のマシンを自動選択します。切り換えは選択キーを押すことでキーボード、マウス、ディスプレイがATとMacintoshへ交互に切り換わります。電源の入っていないマシンへは切り換わりません。選択した側のマシンの電源をオフした場合は電源の入っているマシンへ切り換わります。パワーオンキーで起動/終了するタイプのMacintoshでは本器前面にパワーオンキーと同等のボタンが装備されているので、それを使って起動/終了させて下さい。また**本器の仕様上最初の電源投入時には以下のような制約があります。**

1. AT側のみ電源を入れた場合

キーボード、マウス、ディスプレイはAT側へ切り換わります。切り換えキー(ScrollLock/ Pause)を押してもMacintosh側の電源がオフのため、選択はわかりませんが、もし後からMacintosh側の電源を投入した場合は選択はATのままかわりません。Macintosh側のキーボード・マウスの認識が終わった時点で切り換え可能となります。

2. Macintosh側のみ電源を入れた場合

キーボード、マウス、ディスプレイはMacintosh側へ切り換わります。切り換えキー(ScrollLock/ Pause)を押してもAT側の電源がオフのため、選択は変わりませんが、もし後からAT側の電源を投入した場合はAT側に切り換わります。

3. AT, Macintoshの電源を同時に入れた場合

1.のAT側のみ電源を入れた場合と同じ動作となります。

注)AT側の起動中も選択を切り換えることが可能ですが、AT本体側がキーボード・マウスの認識、初期化に失敗する恐れがあるため、**OSの起動が終了するまでは、切り換え操作を行わないで下さい。**

PS/2キーボードとMacintoshキーボードの対応

106/109(日本語)キーボードを接続しディップスイッチを設定した場合Apple JISキーボードと認識されJIS配列となります。ファンクションキー、Pageup/Page downキーなどの特殊キーも有効です。101/104(英語)キーボードの場合は拡張キーボードと認識されASCII配列となります。PFU **社製キーボード「Happy Hacking Keyboard」を使用する場合はスイッチ 1をON、スイッチ 2をONに設定して下さい。**

106/109キーボードのキー割り当て	HappyHackingKeyboard	
半角/全角	Alt	option
無変換		command
前候補/変換		command
カタカナ/ひらかな		
左ALT		
右ALT		
Windows		
Application		
BackSpace		
101/104キーボードのキー割り当て		
左ALT		
右ALT		
Windows		
Application		
BackSpace		

Macintosh側でのPS/2マウスの操作について

PS/2マウスの左ボタンは通常のマウスボタンに割り当てられ、右ボタンはCtrl+マウスボタンに割り当てられますので使用するOSがコンテキストメニューに対応していれば右ボタンによるメニュー表示が可能です。また本器が対応するホイールマウスを使用した場合、ホイールの上下動作はカーソルキーへ割り当てられます。webブラウザ等での使用した場合、ホイールボタンを押しながら上下に操作することでブラウザの表示を連続的に上下させることができます。

終了時について

すべて作業が終了しマシンの電源を切る場合は、まず選択側のマシンを終了させ電源を切ります。電源が切れると自動的に電源の入っているマシンへ切り換わるので、同様に終了処理を行って電源を切ってください。**もし、選択されていない側のマシンから電源を切った場合、誤動作する恐れがあります。**

御使用上の注意点

- Macintosh ATと切り換えた場合、切り換え前のキーボード上LEDの状態は復帰されません。対応させるためにはNumLock,CapsLock,ScrollLockキー等を操作して下さい。
- ディスプレイの解像度は最大1280×1024ドットです。それ以上では動作保証しません。ディスプレイ信号は周波数が高いため、なるべく短い高品質なケーブルを使用して下さい。
注)使用機器・ケーブル・環境により本来の性能を引き出せない場合があります。PowerMacG3(B&W)では起動時にディスプレイが接続されていないとビデオ出力がされません。この機種では必ずMac側から起動する必要があります。
- 使用中にマウスまたはキーボードを抜かないで下さい。マウスまたはキーボードのみで使用する場合は電源投入前に接続を外しておいて下さい。
- Macintosh起動時にキー入力する場合 shift+command+option+delete(内蔵ハードディスクを無視して外部ハードディスクから起動する)を押しながら起動する場合などは、**最初からキーを入力するのではなく、AT側の選択LEDが点灯した直後に入力して下さい!**
- ホイール付きマウスを使用する場合はMicrosoft Intelli Mouseまたは100%互換品を使用して下さい。もし動作しない場合はWindows側のデバイスドライバをIntelli Mouseのものに変更して下さい。(Intelli Mouse Explorerの場合も) **但し製品によっては動作しない場合があります!**

ドライバの変更手順(Windows98の場合)

コントロールパネル システム デバイスマネージャ マウス ドライバ
ドライバの更新 特定の場所の全てのドライバー一覧を作成し選択 Microsoft Intelli Mouseを選択。

動作確認済みPS/2マウス一覧

COMFORT MOUSE(SANWA SUPPLY),Mouse Port Compatible Mouse2.0A(Microsoft),Microsoft Intelli Mouse(Microsoft Intelli Point2.0以降がインストールされていること),ミツミSCROLL MOUSE(MITSUMI),HC-M10 CODELEDSS MOUSE(VICTOR),IBM SCROLL POINT MOUSE(スクロールポインタは使用不可),Compaq付属マウス(2ボタン),FMV付属マウス(2ボタン),M-S34(2ボタンマウス),M-S35(Logitech 3ボタン),First Mouse+(Logitech)

動作確認済みPS/2トラックボール

Microsoft Intelli Mouse TRACK BALL(Microsoft Intelli Point2.0以降がインストールされていること)

使用不可

KENSINGTON製マウス、トラックボール

- キーまたはマウスボタンを押したままの状態では切り換えしないで下さい。
- 接続は必ず全ての機器の電源を切った状態で行って下さい。突入電流、ノイズ等により周辺機器、パソコン本体が故障する恐れがあります。
- 使用するキーボードによっては同時多数のキー入力がうまく行かないものがあります。このようなキーボードの場合ゲーム等で不具合が生じる可能性があります。
- その他不具合については当社webサイト内サポート情報を御覧下さい。
- 本器には指定機器および指定ケーブル以外は絶対に接続しないでください。接続した場合のトラブルは一切その責を負いません。
- 本製品は、室内で使用することを前提に設計されていますので、屋外や水のかかるような環境でのご使用は避けて下さい。
- お客様自らが本体を分解、修理、改造することは絶対にお止め下さい。保証の対象外になるばかりか火災発生等、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 品質管理には万全を期していますが万一本製品から異臭がしたり煙が出た場合は、直ちに全ての電源を切り、お買い求めの販売店もしくは当社までご連絡ください。
- 本器を使用した場合に生じた損害についての保証は一切致しかねます。

PCS-02MA-II取扱説明書

発行日2000年7月/発行責任者(株)システムサコム Printed in Japan
記載されている会社名・製品名は各社の登録商標または商標です。

仕様

ディスプレイコネクタ:	高密度DSub3列15ピン(VGAコネクタ)×3
キーボードコネクタ:	ミニDIN6ピン×1
マウスコネクタ:	ミニDIN6ピン×1
ADBコネクタ:	ミニDIN4ピン×2
コントローラ:	8ビットワンチップマイコン
信号切り換え部:	半導体スイッチ
キーボード:	101/104/106/109/H.H.K.キーボード
マウス:	PS/2マウス(2ボタン)またはMicrosoft Intelli Mouse
対応AT互換機:	PS/2キーボード、PS/2マウスコネクタを持つ機種
対応Macintosh:	ADBを持つApple Macintosh/Power Macintosh
対応OS:	MacOS/MS-DOS/Windows3.1/95/98/NT/2000
外形:	196(W)×30(H)×87(D)mm(突起部含まず)
重量:	約300g
付属品:	AT互換機本体側キーボード接続用ケーブル 1本 AT互換機本体側マウス接続ケーブル 1本 ディスプレイ接続ケーブル 2本 ユーザーズマニュアル兼保証書 1部 ユーザー登録ハガキ 1部

保証について

- 保証書は保証規定をよくお読みのうえ保管しておいてください。修理の際提示していただけます。
- 保証期間はご購入の日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理については、販売店または(株)システムサコムまでご相談ください。有料にて修理いたします。
- 本製品および本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権その他の権利の侵害等については、当社はその責を負いません。

保証規定

- 保証期間内にお客様の正常なご使用状態において万が一故障した場合、保証規定に従い無料で修理致します。ただし保証の対象となるものは本製品のハードウェアに限らせていただきます。
- 保証期間内でも次の場合は有償修理になります
(1)本保証書のご提示がないとき
(2)本保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの、および販売店の表示のないとき
(3)火災・地震・水害・落雷・移動時の落下など、お取り扱いによって発生した故障および損傷
(4)御買い上げ後の輸送・移動時の落下など、お取り扱いが不適当なために生じた故障および損傷
(5)取扱説明書に記載の使用方法および注意に反するお取り扱いによって発生した故障および損傷
(6)部品の取り外しおよび再挿入、指定以外の部品を使用したことにより生じた故障および損傷
(7)他の機器との接続が原因で本製品に生じた障害および損害
(8)指定のサービス部門以外で修理・改造されたとき
- 修理を依頼される場合は、お買い上げの販売店まで本保証書を添えてご持参下さい。やむをえず送付される場合は送料をご負担願います。
- 本保証書は本製品が国内で使用される場合に限り有効です。
- 本保証書は再発行しませんの必ず保管しておいてください。

システムサコム工業株式会社 <http://www.sacom.co.jp/>

〒130-0021 東京都墨田区緑1-22-5 ビル4F

TEL. 03-6659-9261 FAX. 03-6659-9264